

身を守る行動を確認。 風水害に備えよう

暴風雨の影響により、全国で大規模な停電や河川の氾濫が発生しています。
梅雨の前に、災害から自分や家族の命を守るための行動を確認しましょう。

問くらしの安全課（本庁舎内） ☎ 82 - 0250

1 自分の家・職場などの災害危険度を確認

台風などの災害から自分や家族の命を守るために、まず地域のハザード情報（災害危険度）を確認しましょう。ハザード情報は、昨年配布した防災タウンページや、兵庫県 CG ハザードマップなどで確認できます。



CGハザードマップでは、現在地検索で、地域の危険度がすぐに分かります！



CGハザードマップ

2 災害情報を得る手段を確認

①防災行政無線（戸別受信機）

避難情報や避難所開設情報、事前の注意喚起など、命を守るための情報を配信しています。住民登録のある各世帯の世帯主に1台無償貸与しています。

乾電池が入っていると、停電時でも最大24時間受信可能です



②ひょうご防災ネット（防災メール版・アプリ版）

気象情報や避難情報をメールやアプリで配信します。アプリ版では、災害が起これたらどう行動するかを事前に確認するための「マイ避難カード」の作成もできます。



ひょうご防災ネット（アプリ版）
ダウンロードはQRコードから



Android



iOS

③市ホームページ、LINE、Twitter

災害時には、インターネットで随時「災害・規制情報」などを発信しています。また、ホームページでは、昨年度新たに設置した市内7カ所の河川情報も確認できます。



公式 LINE

お友だち登録はQRコードから→



公式ホームページ

河川カメラの映像はQRコードから→



3 警戒レベルを確認

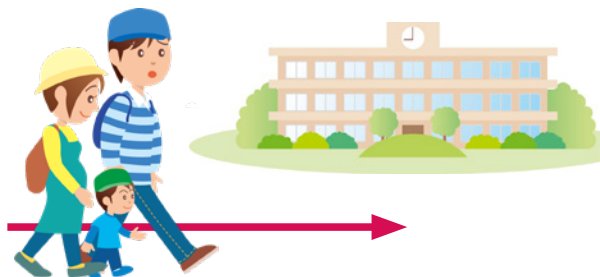
いざという時、自分の命を自分で守るためには、警戒レベルに合わせた行動を取ることが大切です。市は市民の皆さんが適切な避難行動を取れるよう、5段階の警戒レベルで避難情報を分かりやすくお知らせします。

警戒レベル4で全員避難！

高	警戒レベル	避難情報	取るべき行動	
 危険度 低	警戒レベル5	災害の発生情報	すでに災害が発生している状況。命を守る最善の行動を取る。	市が発令
	警戒レベル4	避難指示（緊急） 避難勧告	全員、ただちに安全な場所へ避難、または建物の2階以上に垂直避難する。	
	警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	高齢者や障がい者・小さな子どもがいる人などは避難を開始する。他の住民は避難準備をする。	
	警戒レベル2	注意報	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認する。	気象庁が発表
	警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高める。	
低				

4 避難行動を確認

①水平避難（避難所などの安全な場所へ）
明るい時間帯に、開設された避難所や浸水の可能性が低い地域の親戚や知人宅へ避難しましょう。



②垂直避難（屋内の安全な場所へ）
浸水している時や暗い時間帯の移動は非常に危険です。浸水から身を守ることができる家屋の2階など、高い場所に避難することも避難の方法です。



5 避難計画を立てる

自然災害が発生した時は、「自分の命は自分で守る」という意識を持って、自分の判断で適切な行動を取ることが必要です。「マイ避難カード」を作成し、いざという時、どのような避難行動を取るのか事前に決めておきましょう。

自分ならどうするか、具体的に考えてみよう！

①住んでいる地域にはどんな危険があるか？
②避難場所に避難するのか、自宅の安全な場所（2階）に避難するのか？ また、明るい時間帯と暗い時間帯の避難行動は？
③自分の逃げ時（避難行動を起こすタイミング）はいつ？
④避難場所はどこ？どの道を通って避難する？

逃げ遅れゼロへ！
今一度確認しましょう

